

8-3-3 土木・建築連携まちづくり専門委員会

1. 主な活動記録

(1) 活動目標

「土木・建築連携まちづくり専門委員会」では、以下の2つの方針で活動をおこなった。

a) 土木分野と建築分野の協働について、従来の景観やデザインの領域だけでなく、企画・調査・設計・監理全般を対象に多様な社会環境に応じた協働の在り方を探求する

b) 過年度より活動している「美しい国づくり」の実現に対して、我々建設コンサルタントが取り組んできた活動・成果について記録に残し、情報発信を行う。

(2) 委員会の開催等

- ・委員会開催(勉強会):メールによる審議(4月～2月)
- ・JCCA/JIA 合同WGでの議論(勉強会):7回(4月～3月)
- ・JCCA×JIA 協働シンポジウム開催:1回(令和5年3月)

(3) 主な内容

- JCCA×JIA 協働シンポジウムのテーマ、協働のあり方について議論し、登壇者などの調整と確定を行う。
- JCCA/JIA 合同WSでの議論の深度化、令和4年9月、JCCA側から土木・建築協働による事例紹介を実施
- デザイン紀行の執筆準備

2. 実績報告

- 委員会:令和4年4月～令和4年3月メールによる審議が主体であり、主に協働シンポジウムの企画内容についてJCCAとしての審議・意見取りまとめを行った。
- JCCA/JIA 合同WS:JIA 都市まち委員会のWGに参加、(1)のシンポジウムの企画検討、協働のあり方について議論を深めた。土木・建築協働による事例を紹介
- 第15回シンポジウム:令和5年3月18日(土)にメインテーマを「土木と建築の協働、その可

能性を探る」とし、「AROUND40が考える土木と建築の協働とその未来」をサブテーマに実施した。シンポジウムは、ライブ配信かつ、CPD認定プログラムとして開催、参加者は160名。CPD受講証受取り時に実施したアンケートでは、102名の方が、満足したとの回答が得られた。

シンポジウム全体進行・コーディネーター役を小野寺康氏(都市設計家)にお願いした。第1部の話題提供として、「広域的視点からの設計行為の展開」と題して上條 慎司氏(都市計画家)が、「つくりかたのデザイン」として橋本 尚樹氏(建築家)が講演された。第2部のパネルディスカッションは、コーディネーターは小野寺氏、上條氏、橋本氏に加えて、JCCA、JIAより、神戸美由紀氏、佐藤敦氏が登壇、自身の計画・設計の経験を交えながら活発な議論が展開された。パネルディスカッションでは、AROUND 40の世代がこれからどのように都市・まちを考え、関わっていくのか。そして同じく都市・まちに関わる私たちに、今後どのような可能性があるのか等について興味深い議論が交わされた。シンポジウムの模様は、JCCAのYOUTUBEチャンネルにて公開されている。

3. その他報告事項

過年度第14回までのシンポジウムの活動成果の公開方法について検討をしている。

4. 次年度の活動について

「土木・建築連携まちづくり専門委員会」の活動は、土木分野と建築分野の協働について、従来の景観やデザインの領域だけでなく、企画・調査・設計・監理全般を対象に多様な社会環境に応じた協働の在り方を探求していく。また、連携の対象は、建築分野だけにとどまらず、造園(ランドスケープ)分野との連携も視野にいれて活動を進めていく。

(土木・建築連携まちづくり専門委員会委員長
水谷智充)